

第78回 ここからカフェ九品仏

災害が起きた時、あなたはど
 うする？
 事前の備えについて考えま
 しょう

日時：2024年10月26日(土)
 13:30～15:30

会場：九品仏複合施設 2階

講師：せたがや災害ボランティアセンター

渡邊珠人(防災士)

参加費：300円 ※要予約

申込：090-3961-8514(湯澤)

第103回 お隣さまお茶会

樹と友達になろう

昨年11月から引き続き第2弾

日時：2024年10月21日(月)
 13:30～15:30

会場：スペースえんがわ inn

講師：瀬川真治さん

森林インストラクター

参加費：500円 ※要予約

申込・問合せ 03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

第53回 玉田シニアサロン

犯罪率を効果的に減少させる方法

日時：2024年11月6日(日)
 14:00～16:00

会場：玉川田園調布会館

講師：一般社団法人マハリシ総合教育研究所

鈴木志津夫さん

三木 康さん

参加費：500円

申込・問合せ 03-3721-8699

玉川まちづくりハウス

ハウスの会員数

特別正会員 5名
 正会員 28名
 ニュース会員 67名

10月号にかかわったひと

伊藤雅春 染野和夫
 池田麻未 高橋阿貴
 小西玲子 柴田希美絵
 昆野敬子

9 ハウススケジュール&フレイバック

予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 1日(日) 玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館
- 9日(月) お隣さまお茶会 / スペースえんがわ inn
- 12日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 13日(金) 玉川まちづくりハウス定例委員会 / スペースえんがわ inn
- 15日(日) タマデン marchè / アビターレ前
- 18日(水) 街角保健室@スペースえんがわ inn / スペースえんがわ inn
- 24日(火) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 / スペースえんがわ inn
- 26日(木) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 28日(土) せたがや防災 NPO アクション事務局会議 / オンライン
- 29日(日) ここからカフェ九品仏 / 九品仏複合施設 2階



10 ハウスカレンダー

- 6日(日) スピノフお隣さまお茶会 シヤクナゲ植え替え 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 10日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
- 11日(金) 玉川まちづくりハウス定例委員会 9:30～11:00 スペースえんがわ inn
- 16日(水) 街角保健室@スペースえんがわ inn 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 18日(金) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 砧総合支所
- 20日(日) タマデン marchè 11:00～14:00 アビターレ前
- 能登半島支援チャリティコンサート 15:30～16:30 スペースえんがわ inn
- 21日(月) お隣さまお茶会 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 22日(火) 住宅相談ネットワーク会議 13:30～15:30 世田谷区役所
- 24日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
- せたがや防災 NPO アクション事務局会議 18:00～20:00 オンライン
- 26日(土) ここからカフェ九品仏 13:30～15:30 九品仏複合施設 2階
- 29日(火) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 13:30～15:00 スペースえんがわ inn

ハウスの最新の情報はHPをごらんください



HP: <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスニュース

みんなでホイッ!

10
2024

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085

東京都世田谷区玉川田園調布 2-11-10 Email house@tamamati.com
 tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>



no.347

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

「玉川まちづくりハウス 今後のこと」

伊藤雅春

活動方針作成に向けて、右のようなことを考
 えている。

玉川まちづくりハウスのミッションは、この地域
 に“わたし”から“わたしたち”を実現していくコミュ
 ニティ・デモクラシー(みんなが話し合っ
 て決めていく)の実現である。そのために身近な地域にコ
 モン(地域共有資源)を生み出し、た
 くさんのコミュニケーションと熟議の『場』
 を作り出し、確かな熟議システムを作
 っていくことを活動の目標としたい
 と考えている。

小さなコミュニティに多様な『場』
 があり、それらが重なり合うことで
 十分なコミュニケーションを基盤とし
 た地域がつながり合っ
 て、それが自治体となるイメージが
 コミュニティ・デモクラシーの具
 体的な姿である。

この地域におけるささやかな兆し
 として、一昨年度のWAM(独立行政
 法人福祉医療機構)助成金を受けて
 取り組んだ「街角保健室」プロジェ
 クトは、スペースえんがわinnを主
 要な舞台として活動するいくつかの
 対話・おしゃべりの『場』を育み
 始めている。「玉田シニアサロン」
 は、コミュニティ圏から公共圏に
 広がるテーマを熟議する『場』
 としての可能性に取り組もうとし
 ている。もうひとつ「在宅ケアを
 語る会」との連携は、ケアの思想
 によってまち

づくりを再考する機会となるのでは
 と思っています。

①「WAM助成 街角保健室プロジェクト」
 の成果を育て街角保健室の常設化
 を目指す

②「Tamaden Marchè」をコミュニティ
 への入り口として継続的に展開す
 る

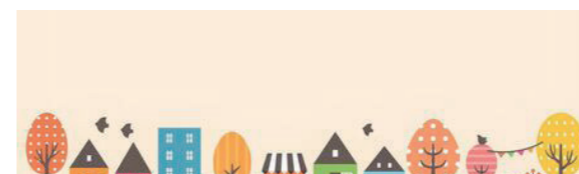
③ 玉川まちづくりハウスと玉川田園
 調布会と玉川田園調布住環境協
 議会の関係を基盤にしてコ
 ミュニティが自律的に大きな構
 造を構築できるような仕組みを
 考えていく。

④「※エコロジカル・デモクラシー」
 の視点から八幡ファーム、コミュ
 ニティ・ガーデン、ケヤキガ
 ーデンを地域に開きたい
 (※自然・生態系(エコロジー)と
 社会(デモクラシー)の両方を一
 緒に考え、新しい価値、方法、
 世界を実現しよう、という広
 大な考え方。)

⑤ 九品仏アートフェスタを通して
 九品仏商店街との連携を図る

⑥ 玉田シニアサロンの『場』を
 活用して公共圏につながる熟
 議を発展させる

⑦「コミュニティ・デモクラシー」
 を実現する熟議システムを多く
 の人に理解してもらえよう取
 り組む



年末に開催予定の玉川まちづく
 りハウスの総会によって検討す
 ることになる。ご意見をお寄
 せいただければ幸いです。

タマデン Marchè スピンオフ企画 52 どうぞ



タマデン marche は 2020 年から猛暑を除きほぼ月 1 回続けて回を重ねてきました。

「コミュニティを支えること」「地域の資源を出来るだけ循環させること」「この街をもっと知って、理解と愛着をはぐくむこと」どれだけでできているか自問自答しながら、毎月「もうひと月経っちゃったねー」と、スタッフで言い合いながら進んでいます。

寄付していただいた物品は、残念ながら収納しきれなくなって来ていて、4 年を経過した今、振り返ることも重要と感じています。

そこで、というわけでもないのですが、9 月 23 日 2 年前に世田谷区全体でおこなっていた「53 になる前に 52 どうぞ」捨てるにはもったいないものを「ご自由にどうぞ、お持ちください」という取り組みをやってみました。

ほとんど宣伝もしなかったのですが、通りかかった人が「いいことですね」「ありがたい！」とピックアップしてくれました。これも継続が大事と思います。気軽に続けていこうと思っています。



林泰義さんを語りあう会

先月号でお伝えした、「林泰義さんを語りあう会」が 9 月 29 日(日)、玉川区民会館で開催されました。人と会うこと、人をつなげることが大好きだった林さんらしく、遠野や、沖縄から来てくれたメンバーもいて、様々なエピソードがリレーセッションで次々語られ、昨年末の「林さんに会いに行くかい(会)」、林さんを送り出すかい(会)同様、林泰義さんらしい、賑やかな時間になりました。



ご家族から提供された写真や若いころは画家になろうかと思っていた泰義さんの絵画。画はみなさん思い思いに記念に持ち帰られました。



暮らしのつばやき 10月



高校生クイズ

今年の全国高校生クイズ大会のテレビ番組を観ました。3 時間もあったので最後まで見られないかとも思っていたのですが、見始めたら目が離せずについ最後までちゃんと見て、しっかり感動しました。勝ち負けのクイズで他チームの失敗を喜ぶことを良くなかったと反省する場面も、自分の失敗でチームに迷惑をかけたと泣いてしまう場面も、全部が参加している高校生の大事な思い出になるのだろうと思わせる、いい番組でした。



餅は餅屋

会社の健康診断で久しぶりに集団歯科検診を受けたのをきっかけに、自分でもきちんと歯医者に通おうと思いました。どの病院に通ったらいいのかを迷い、従妹(歯科医)に相談してみたところ、想像以上にたくさんの選択肢をアドバイスしてくれて、餅は餅屋だなあと実感しました。

予防や治療のどこに力を入れているか、保険がきくか、色んな視点があることがわかり勉強になりました。

地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいで紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る
その 23

第 23 回 玉川全円耕地整理事業・パート③

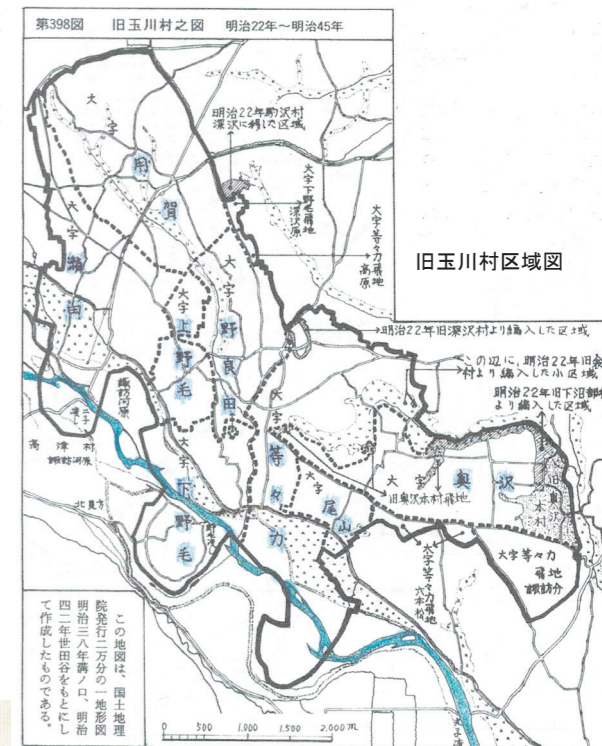
奥沢地誌保存会・染野和夫

玉川全円耕地整理事業は、全村同時の事業化を断念し、大字を単位として 17 工区に分け、各工区に実施の主体性を持たせて事業推進を図ることとなりました。当時の村行政では、意見が対立した場合は大字を単位として意思決定を行うことがしばしばありました。そこで本耕地整理事業も大字を単位とした工区に分けて進めることで決着しました。

その「大字」ですが、明治 22 年に市制町村制が施行され、旧来の 8 か村(奥沢村、尾山村、等々力村、野良田村、下野毛村、上野毛村、瀬田村、用賀村)が合併して玉川村が成立した時、旧 8 か村はそれぞれ大字となりました。更に明治 45 年に多摩川の両岸に相互交錯していた東京府と神奈川県境界を整理した時、諏訪河原が玉川村に編入されて大字となり、玉川村の大字は 9 つとなっていました。

本事業では 17 の工区に分けていますが、これは区域の広い大字は更に 2-3 の工区に分割(大字奥沢は東と西の 2 つに、大字等々力は南と中と北の 3 つに等)した結果です。

各工区では、工区の区長・区副長・区区議員などの役員の選挙を行い、これら役員による審議のもとでそれぞれの工区の事業の推進を図ることになります。



17 工区中で最も早期に事業を推進したのは玉川村東部の 4 工区(諏訪分区・奥沢東区・奥沢西区・尾山区)です。4 工区は昭和 3 年の 6 月から 12 月にかけて、村中部や西部に先駆けて工事に着工、工事完了も早期に達成しています。

村東部地区が早期に事業を推進した要因としては、目蒲線が大正 12 年、東横線が昭和 2 年に開通して東京市部との交通の便が確保されていたこと、隣接地の多摩川台地区(現・田園調布)や袋地区(現・自由が丘)で住宅地開発や区画整理が進められていたこと、諏訪分区内で新奥沢線の建設による線路用地の売却で潤沢な資金を得ていたこと、等が挙げられます。

東京市部への交通の便がない村中部や西部は、宅地化が実感出来ず工事開始が遅れました。

諏訪分区・奥沢東区・奥沢西区計画図(実際の工事とは異なる)



進化するカードゲーム

熱海旅行に行った際、友人がカードゲームをいくつか持ってきてくれて、夜一緒に遊びました。

トランプと UNO くらいしか知らなかったのですが、1 から 100 までの数字が書かれたカードを使う「ito」や、キーワードと助詞が書かれたカードで即興でプロポーズの言葉を作るものなど、新鮮で楽しかったです。こういう新しカードゲームを考える仕事も面白そうだなと思いました。



ようやく秋

いつまでも暑い日々が続いて、それなのに日が落ちる時間だけが早くなっていて、「なんで？」と騙されたような気分でした。ようやく朝晩が涼しい空気になってきて嬉しいです。

涼しくなったな、と思いながら散歩すると、今まで気づいていなかった植物の秋への入れ替わりに気づいて、急に秋になった！という気分になります。寒いと感じる気温になる前のこの空気を沢山楽しもうと思います。

(貴)